

看護

あきた

Vol.120

Nursing Akita

平成27年度 1号
公益社団法人秋田県看護協会会報

- [目次]
- 1 平成27年度 通常総会・特別講演
 - 2 平成27年度 役員名簿
 - 3 平成27年度 理事・監事紹介



- 5 「看護の日」事業報告
- 6 秋田県ナースセンター開所式 ご挨拶
- 7 シリーズ 施設自慢
- 8 シリーズ 輝いてる人
- 9 平成27年度 受賞おめでとうございます・安全情報
- 10 事務局からのお知らせ

平成27年度会員数 6,945名 (H27.6.24現在会員数)

保健師 254名 助産師 304名 看護師 6,172名 准看護師 215名

- 開催日時:平成27年6月18日(木) 9:30~15:30
- 開催場所:秋田県総合保健センター 2階 大会議室
- 会員総数:6,908名(平成27年6月12日現在)
定足数3,455名(正会員の過半数)
- 出席者:9時20分現在 会員319名
委任状 5,220名 合計 5,539名を持って
開催された。



●プログラム

9:00 開場・オリエンテーション

9:30 開会・開会宣言

物故会員への黙とう 4名

会長挨拶 高島 幹子

来賓祝辞 秋田県知事代理 健康福祉部次長 保坂 学氏

秋田市長代理 秋田市保健所次長 永井 暁氏

秋田県医師会長代理 秋田県医師会副会長 坂本 哲也氏

来賓紹介

秋田県看護協会会長表彰 受賞者:会員109名

受賞者謝辞 代表 佐藤福子氏(雄勝中央病院)

10:20 議長団選出

菅原富貴子氏 佐藤信子氏 高本和子氏

総会成立宣言

議事録署名人選出 中村千絵氏 湯川早苗氏

選挙管理委員及び選挙立会人指名

10:30 [報告事項]

1.平成26年度理事会・常務会報告

2.平成26年度日本看護協会理事会等報告

3.平成26年度事業報告

4.平成27年度秋田県看護協会重点事項並びに事業計画

5.平成27年度収支予算

6.秋田県看護センター建設積立金の設定等に関する報告

11:50 議決事項

第1号議案 平成26年度決算(案)の承認について

第2号議案 平成27年度改選役員及び推薦委員の選出(案)について

第3号議案 平成28年度日本看護協会看護協会代議員及び予備代議員の選出(案)について

第4号議案 秋田県看護協会名誉会員(案)の承認について

12:40 議長団解任

12:45 名誉会員証贈呈 烏トキエ氏 石川セツ子氏

新役員紹介 新役員挨拶

旧役員への謝辞 旧役員挨拶

日本看護協会歌斉唱「光 もとめて」

12:50 閉会



14:00 [特別講演]

テーマ「癒しの看護を求めて」

講師 日本キリスト教団秋田桜協会 牧師 雲然 俊美氏

15:30 講演終了



平成27年度 役員名簿

(H27.6.23作成)

理事・監事

●印:委員長

役職名	氏名	職種	所属施設名
会長	高島 幹子	看	秋田県看護協会
副会長	菅原 トシエ	助	ひがし稲庭クリニック
副会長	佐藤 道子	保	秋田県総務部人事課
常務理事	福田 幸子	看	秋田県看護協会
会計	石黒 博子	看	在宅(秋田市)
教育	工藤 一子	助	秋田県看護協会
保健師職能	酒井 陽子	保	在宅(大仙市)
助産師職能	篠田 玲子	助	在宅(秋田市)
看護師職能	守屋 陽子	看	在宅(秋田市)
鹿角	川上 直美	看	かづの厚生病院
大館	田中 智恵子	看	大館市立総合病院
北秋田	畠山 淳子	看	北秋田市民病院
能代・山	佐々木 冷子	看	地域医療機構 秋田病院
秋田臨海	成田 雪美	看	秋田厚生医療センター
由利本荘・かほ	三浦 瑞枝	看	本荘第一病院
大仙・仙北	高橋 洋子	看	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
横手	佐藤 セツ子	看	市立横手病院
湯沢・雄勝	阿部 比登美	看	雄勝中央病院
准看護師	櫻庭 文子	准	藤原記念病院
監事	井上 栄	看	在宅(秋田市)
監事	川村 啓子	看	杉山病院
監事	伊藤 安徳	看	在宅(秋田市)

選挙管理委員会

●印:委員長

委員名	職種	所属施設名
● 鎌田 さち子	看	秋田厚生医療センター
船木 優子	助	市立秋田総合病院
佐々木 早苗	看	秋田緑ヶ丘病院
野田 麗子	看	本荘第一病院
野呂 康子	看	能代山本医師会病院

推薦委員会

委員名	職種	所属施設名
野崎 富士子	看	土崎病院
佐々木 冷子	看	地域医療機構 秋田病院
池田 美紀子	看	外旭川病院
吉田 真理子	看	北秋田市民病院
加藤 頼子	看	市立田沢湖病院

常任・特別委員

●印:委員長

委員会名	委員名	職種	所属施設名
保健師職能委員会	● 酒井 陽子	保	在宅(仙北市)
	中村 悦子	保	秋田市役所 長寿福祉課
	佐藤 直子	保	由利地域振興局福祉環境部
	熊澤 由美子	保	秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻
	田口 貴久子	保	男鹿市介護サービス・地域包括支援センター
助産師職能委員会	● 渡辺 智子	保	秋田県庁人事課
	● 篠田 玲子	助	在宅(秋田市)
	工藤 佐智子	助	能代厚生医療センター
	本多 由美	助	大館市立総合病院
	鈴木 智都	助	市立横手病院
看護師職能委員会	● 富樫 昭子	助	秋田赤十字病院
	齋藤 繭子	助	由利組合総合病院
	● 守屋 陽子	看	在宅(秋田市)
	大高 喜代美	看	地域医療機能推進機構秋田病院
	工藤 文子	看	秋田県立脳血管研究センター
	澤田 瑞木	看	由利本荘医師会病院
	田口 典子	看	大曲厚生医療センター
	豊嶋 純子	看	中通リハビリテーション病院
	上村 勝也	准	今村病院
	辻 宏子	看	リンデンバウムいずみ
社会・経済委員会	● 猪股 洋子	看	介護老人保健施設かみの里
	● 阿部 美賀子	看	平鹿総合病院
	石川 みゆき	看	本荘第一病院
	内藤 由美子	看	能代山本医師会病院
	松橋 かほる	看	湖東厚生病院
武田 千恵美	看	中通総合病院	

委員会名	委員名	職種	所属施設名
教育研修会	● 佐々木由美子	助	湖東厚生病院
	菅原 千鶴子	看	大館市立総合病院
	伊藤 志保	看	地域医療機能推進機構秋田病院
	樋渡 佳代子	看	雄勝中央病院
	鈴木 恵子	看	秋田大学医学部附属病院
	新野 隆子	助	秋田赤十字病院
	佐藤 弘美	看	市立秋田総合病院
	渡部 静子	看	市立角館総合病院
	小坂 さおり	看	男鹿みなと市民病院
	伊勢 由紀子	看	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
	坊良 由可	看	由利組合総合病院
	齊藤 由紀子	看	大曲厚生医療センター
	八巻 美恵子	看	平鹿総合病院
	小野 麻由子	保	日本赤十字秋田看護大学
国安 みゆき	看	秋田厚生医療センター	
広域委員会	● 藤田 直	看	大曲中通病院
	嘉藤 久仁子	看	平鹿総合病院
	丸井 直人	看	市立秋田総合病院
	佐藤 美紀	看	中通リハビリテーション病院
	富樫 まゆみ	看	本荘第一病院
	藤島 一也	看	杉山病院
	滝澤 真里子	看	土崎病院
	千葉 亜矢子	看	市立角館総合病院
	武田 忍	看	秋田厚生医療センター
	大友 圭子	看	市立大森病院
大山 繭子	看	能代厚生医療センター	
看護制度会	● 佐々木 吉明	准	花園病院
	佐々木久美子	看	北秋田市民病院
	石井 広美	看	杉山病院
	森本 和子	看	市立横手病院
看護学会会	● 佐藤 祥子	看	平鹿総合病院
	● 齊藤 清子	助	秋田県立衛生看護学院
	長岡 真希子	看	秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻
	小林 育子	看	秋田大学医学部附属病院
	成田 真理子	看	秋田赤十字病院
	菊地 香織	看	市立秋田総合病院
	長谷川 蘭子	看	秋田市医師会立秋田看護学校
	鈴木 典子	看	外旭川病院
	佐藤 友子	看	雄勝中央病院
	● 豊嶋 直美	看	中通総合病院
認定看護管理運営委員会	● 猿田 久仁子	看	在宅(秋田市)
	大塚 悦子	看	秋田大学医学部附属病院
	田口 牧子	看	秋田看護福祉大学
	成田 尚子	看	秋田県立脳血管研究センター
	工藤 一子	助	秋田県看護協会
	● 木嶋 しげ子	看	由利組合総合病院
[特別委員会]災害看護委員会	木村 志保子	看	かづの厚生病院
	越後谷 和美	看	JA秋田厚生連医療従事者確保対策室
	前田 千科子	看	男鹿みなと市民病院
	熊谷 浩子	看	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
	● 石川 セツ子	看	在宅(秋田市)
[特別委員会]訪問看護推進委員会	柴田 貴子	看	大館市立扇田病院
	工藤 雅子	看	秋田厚生医療センター
	鎌田 百合子	看	中通訪問看護ステーション
	真崎 祥子	看	市立角館総合病院
	菊地 富貴子	看	訪問看護ステーションあきた
[特別委員会]医療・看護安全委員会	伊藤 真紀子	看	秋田県立脳血管研究センター
	宮腰 久美子	看	能代山本医師会病院
	石井 直子	看	秋田赤十字病院
	石川 桂美	看	秋田緑ヶ丘病院
	高橋 美紀子	看	大曲厚生医療センター
[特別委員会]ワーク・ライフ・バランス推進委員会	● 福田 幸子	看	秋田県看護協会
	加藤 節子	看	藤原記念病院
	工藤 正志	看	秋田緑ヶ丘病院
	大須賀 滝子	看	本荘第一病院
	船木 文子	看	秋田県健康福祉部医務課
	松橋 廣巳	看	秋田県看護協会

平成27年度

理事・監事 紹介

理事 (新任)



秋田県総務部人事課

佐藤 道子

このたび、副会長を務めさせていただくことになりました。少子高齢化が進む中で、看護職には大きな期待が寄せられています。保健・医療・福祉・介護の協働と連携の視点を大切にしながら職責を果たしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

保健師職能理事 (新任)



大仙市

酒井 陽子

保健師は、社会システムの構築・維持・改善に働きかけ、憲法25条の「公衆衛生の向上」を担います。現場での保健活動を充実できるよう、現任教育の一端を担い保健師がより良い社会資源となりうるよう職能委員会活動をすすめたいと思っております。

助産師職能理事 (新任)



秋田市

篠田 玲子

現在助産師は「専門性が発揮できない」、「実践力が高められない」という課題を抱えています。安心して出産・育児ができるよう助産師本来の力を発揮し、助産師の存在をアピールできるような活動を行いたいと思っております。皆様の御協力をお願いします。

教育理事 (再任)



秋田県看護協会

工藤 一子

この度、再び教育理事を務めさせていただくことになりました。

公益社団法人へ移行し4年目となる今期の課題は、日本看護協会と連動した継続教育の取り組みにおいて、看護実践能力の強化とその体制の整備にあります。

秋田県の看護職者の生涯教育のより一層の充実に向けて微力ながら尽力いたします。皆様のご協力よろしくお願いいたします。

鹿角地区理事 (新任)



かづの厚生病院

川上 直美

この度、地区理事を務めさせていただくことになりました。

重責を担うことになり不安ではありますが、皆様のご指導・ご協力をいただきながら魅力ある支部活動を展開し、更なる発展のために努力していきたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

大館地区理事 (新任)

大館市立総合病院
田中智恵子



この度、大館地区理事を務めさせていただく事になりました。

理事としての責務を果たせるか不安ですが、会員の皆様からのご指導とご協力を頂き、地区事業活動を行って参りたいと考えております。また、活動を通して地域社会に貢献していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

北秋田地区支部 (再任)

北秋田市民病院
畠山 淳子



地区理事として2期目をさせていただきます事になりました。1期目は協会の皆様から支えられながら私自身も協会員としての自覚を強くさせていただきました。2期目は地区支部と協会のつながりを更に深めていけるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

能代・山本地区理事 (新任)

地域医療機能推進機構
秋田病院
佐々木 冷子



この度、能代・山本地区理事を務めさせていただくことになりました。公益社団法人に移行しての協会活動は初めてであり、責務を果たすことができるかどうか不安ですが、協会と地区支部とのパイプ役として、会員の皆様と協力し合い、活発な事業展開を行っていきたく思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

秋田臨海地区理事 (新任)

秋田厚生医療センター
成田 雪美



はじめまして。この度、秋田臨海地区支部長を任されました成田雪美と申します。初めてのことで不安もありますが、少しでも皆様のお役に立てるように、そして役員自身も楽しく、やりがいを持てる活動に行きたいと考えております。よろしくお願いいたします。

監事 (再任)

秋田市
伊藤 安徳



当協会の公益法人化に伴う措置として外部からの監査の必要から4年前「監事」としてこの組織に加わりました。このたび引き続き監事を引き受けることになりましたが、惰性に流れることのないよう心を引き締めて努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

監事 (新任)

杉山病院
川村 啓子



協会員として長きにわたり多くの情報と学ぶ機会を頂いております。職能として対象者の生活を基盤に、医療・福祉・介護等多職種のネットワークと連携プレイが必須と思っております。この度は視点を変えての関わりが出来る事を光栄に思います。

秋田県民と集う

看護の日 フェア

入場
無料

実施報告

2015

5.9(土)

【会場】 秋田拠点センター
アルヴェ1F
(きらめき広場)

「国際助産師の日」記念行事

まちの保健室 11:00~14:45

血圧・骨密度・体脂肪測定・薬・栄養・口腔衛生・乳がん自己検診・
お酒との上手な付き合い方・女性の悩み相談・看護職就職相談・認知症相談

家庭看護・相談コーナー 11:00~14:45

ちびっこナース写真撮影コーナー 11:00~14:45

マッキーさん「アート風船」プレゼントコーナー
11:00~14:45

「和みアート」展示・体験コーナー 11:00~14:45

ステージイベント

10:10~10:40

講演:

認知症の早期発見・早期対応について

大曲中通病院 認知症看護認定看護師 高橋 早奈恵氏

10:40~11:00

アトラクション

マッキーさんジャグリングショー

11:00~11:30

講演:

災害看護について

秋田赤十字病院 看護師 佐藤 由夏氏

12:30~13:00

家庭看護実演

13:00~14:00

特別講演: 笑いヨガ

笑顔の力を信じて

~あなたもみんなも元気に~

オリジナルスマイル研究所 小山田 聖子氏

14:00~14:40

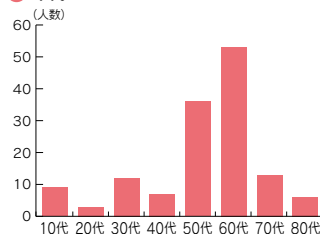
アトラクション

ゴスペルクワイヤ The Power Praise

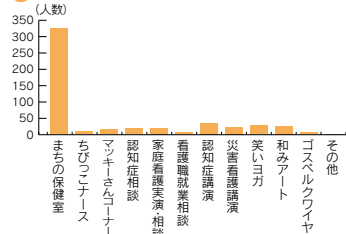


看護の日フェア アンケート結果

① 年代



② どのコーナーが良かったと思いますか?



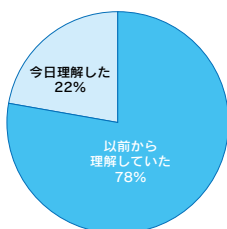
意見・感想・要望

普段なかなか相談出来る機会がないので有意義な時間を過ごせたと思うのでまた開催してほしい。

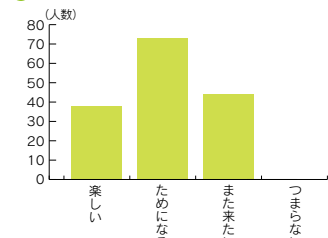
講演は続けてやって頂いたほうがたくさんの方に聞いて頂けると思いました。

ふだんきけない事を栄養相談、薬の相談で聞く事が出来又くわしく教えてもらい、勉強になりました。

③ 看護の日を理解いただけましたか?



④ 看護の日に参加してどう感じましたか?



毎年人気!
マッキーさんの
風船アート

秋田県ナースセンター

秋田アトリオンビルに移転オープン



ご挨拶

会長 高島幹子

秋田県ナースセンターは、平成4年「看護師等人材確保法」の制定により、それまでのナースバンクを発展的に改組し発足いたしました。

県看護協会内の一室に併設された秋田県ナースセンターは、この間多くの皆様によって培われ、看護職の再就業や、職場でかかえるさまざまな悩みに対する相談対応などを通して、看護職として働き続けられるための支援を行ってきました。

しかし、ナースセンター発足以来23年を経た今日でも、医療機関をはじめ、在宅医療・福祉施設等の看護職の求人は依然として高い状況にあります。

このたび関係各位の多大なるご支援を賜り、秋田アトリオンビル1階広小路側にナースセンターを移転し事業をすすめることとなりました。移転を機に、今まで以上に細やかな情報提供を行い、離職後の再就労を希望される方はもちろん、ブランクのある方には研修を行うなど円滑な再就業を支援してまいります。

また、本年10月からは離職する看護職の登録制度もスタートします。離職時や看護職の資格を取得しながら看護業務に従事する予定にない方は、ナースセンターへ届出るこ

もっと身近に!

もっと細やかに!!

とが努力義務として法律に明記されました。

一人ひとりが看護の現場で輝き続けられるよう、秋田県ナースセンターはアトリオンビルを発信基地として看護職・県民の皆様のお役に立てるよう活動してまいります。

秋田駅西口から徒歩6分、秋田アトリオンビル1階の広小路側に面しており利便性も高まりました。お気軽にお立ち寄りください。明るく広いスペースでの就業相談や再就業研修の情報収集など、大いにご活用くださいますようお願い申し上げます。



(出典元： 秋田魁新報社)



施設自慢



■ 当院の紹介

大曲厚生医療センター 看護部長 伊藤富貴子

当院は、平成26年5月に新築移転し、「仙北組合総合病院」から「大曲厚生医療センター」に病院名を変更しました。

病床数は437床（一般433床、感染4床）で、屋上には冬期でも離着陸可能な屋上ヘリポートを整備して、専用のエレベーターで救急外来に搬送することができます。移転後のドクターヘリによる搬送は11件ありました。また、高規格救急車と救急隊員4名が院内に常駐する、県内で初となる「救急ワークステーション」が設置されました。

当院の平成26年度の救急外来受診者数はおおよそ18,000人、救急搬送患者数は3,100人を超えて、ともに県内で2～3番目に多い状況です。二次救急・病院群輪番制病院として、関係機関との連携体制の強化を図りながら、迅速で的確な救急医療の提供を目指しており、日曜日は地域の医師会の協力のもと、小児救急外来と休祭日救急医療連携事業を実施して患者へのスムーズな対応に努めています。

また、混雑する救急外来の中で重症度・緊急度の高い方が早く診察を受けられるように、看護師による「救急患者トリアージ」を実施しており、看護師の拘束体制を増やしたり看護補助者を導入するなど、救急患者の安全性と効率性を高めるよう取り組んでいるところです。

さらに、県内の地域がん診療拠点病院の中では初めての「緩和ケア病床」19床を設置して、患者・家族の心や体の痛みを緩和できるように、医師や看護師をはじめ、多職種が専門性を発揮して連携



を図りながら医療を提供しています。

また、2025年問題といわれる超高齢化社会に向けて、「地域」の中で、その人の状況に合わせて「継続的」に、生活全体を「包括的」に捉えて支える「地域包括ケア」の構築が求められる中、当院では昨年8月から「地域包括ケア病棟」を2病棟（109床）開設して、院内の機能分化を実施して退院に向けた支援を行っています。

広大な大仙・仙北二次医療圏に位置する中核病院として、小児から高齢者、出生から終末期、急性期から回復期・退院支援まで、あらゆる疾患や病態に対応できる看護師を育成して、院内・院外の他職種の方々と連携を図りながら、地域の皆様に信頼され、安心して来ていただける病院を目指して、職員一丸となって取り組んでいます。



輝 いてる 人

No.1

市立秋田総合病院

澤井 さとみ



昨年から退院調整看護師として働いており、2年目になりました。

退院調整看護師の活動は、実際の退院支援・調整だけでなく、院内の退院支援の仕組みづくり、スタッフへの教育等、多岐に渡ります。また、少子高齢化、在院日数の短縮化などを背景に、医療依存度の高い患者さんが増加しており、さらに退院支援は重要視されています。

現在の私の主な活動は、各病棟と定期的に行っている退院支援のカンファレンスの準備、退院する患者さんについての院内外との連絡調整、衛生材料の準備、在宅で療養を続けている患者さんについて訪問看護師や主治医との連携などです。さまざまな制度や社会資源、退院支援の考え方など学ぶことが多く、あっという間に1年が過ぎました。この1年は退院支援の重要性、退院調整看護師としての責任の重さを感じ、幅広い退院調整看護師の活動の中で私に何が出来るだろうかと悩むことがとても多かったです。

退院支援には、病態や医療的なことだけでなく、患者さんのこれからの生活についても考える必要があります。退院支援に関わることでその重要さに気づき、それは看護の基本となるものだと改めて感じることができました。自宅へ退院した患者さんと外来で面談すると、入院中より表情が生き活きとしていることが多く、「うちに帰れて良かった」という言葉を聞くのはとても励みになっています。また、これまではあまり関わる事がなかったさまざまな院内外の業種との関わりが多く、たくさんのお話を学ぶことができるのはとても楽しいです。

病気や医療処置を抱えたまま自宅へ退院するのは、患者さんや家族にとってとても不安が大きいのと思いますが、地域で患者さんや家族を支えるスタッフと連携を取りながら、少しでも安心して退院し療養できるよう支援できたらと考えています。

受賞おめでとうございます。

2015年 春の叙勲 受章

瑞宝単光章
秋田労災病院
看護部長 小柳孝子氏

平成27年度 日本看護協会長表彰

佐藤潤子氏

平成27年度 秋田県看護協会名誉会員

鳥トキエ氏
石川セツ子氏



WLB推進ワークショップ事業を終えてカンゴサウルス賞を受賞いたしました。(5/13 青山ダイヤモンドホール)

安全情報
No.7

医療・看護安全委員会

薬剤の投与経路間違い事例より

！服薬現場で確認すべき6つのR

1. 正しい**目的** (Right Purpose) 目的があっているか確認
2. 正しい**患者** (Right Patient) 患者が本人かどうか確認
3. 正しい**薬剤** (Right Drug) 薬に間違いがないか確認
4. 正しい**用量** (Right Dose) 服用量は正しいか確認
5. 正しい**用法** (Right Route) 服用方法は正しいか確認
6. 正しい**時間** (Right Time) 正しい投与時間を確認

日本医療機能評価機構 医療安全情報NO101参照

看護師等の人材確保に関する事項の施行について

「看護師等の免許保持者による都道府県ナースセンターへの届出制度」本年10月1日から施行

趣旨及び概要

看護師等(以下「保健師、助産師、看護師及び准看護師」をいう。)の確保を図るためには、都道府県ナースセンター(以下「都道府県センター」という。)が離職した看護師等を把握するとともに、都道府県センターの機能を強化することにより、看護師等の復職支援を推進していく。

○届出る事項(改正省令第4条関係)

「厚生労働省令で定める事項」とは、
・氏名、生年月日及び住所(同条第1号)
・電話番号、電子メールアドレスその他の連絡先に係る情報(同条第2号)
・保健師籍、助産師籍、看護師籍又は准看護師籍の登録番号及び登録年月日(同条第3号)
・就業に関する状況(同条第4号)
第4号の就業に関する状況とは、就業をしていない旨又は就業している旨を記載するとともに、就業をしていない場合はその職歴など可能な限り具体的に記載するものである。

○届出の対象者(改正省令第3条関係)

「厚生労働省令で定める場合」とは、
・改正法第2条第2項に規定する病院等を離職した場合(同条第1号)
・保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)第2条、第3条、第5条又は第6条に規定する業(以下「保助看法の業」という。)に従事しなくなった場合(同条第2号)
・看護師等の免許を受けた後、保助看法の業に直ちに就事する見込みがない場合(同条第3号)

○届出の方法(改正省令第5条関係)

届出は、電子情報処理組織を使用する方法により行うことができる。この場合においては、中央ナースセンターを経由して行うものとする。具体的には、インターネットを経由して中央ナースセンターのホームページに接続し、届出を行うものである。なお、インターネットを使用することが困難な者については、書面による届出も可能である。

県民と集う訪問看護フォーラム

開催日時:平成27年9月5日(土)13:00~16:00
会 場:秋田拠点センターアルヴェ 1階 きらめき広場
テ ー マ:認知症になっても、最期まで我が家で暮らせる町づくり

多様な勤務形態導入事業 看護職のWLB推進研修会

WLB推進していく上でのインデックス調査の活用の仕方及び今後のWLB推進についての展望を学び各施設での実践に活用するための研修会です。

開催日時:平成27年8月28日(金)9:35~16:00(9:00受付)
テ ー マ:インデックス調査の読み解きと看護・医療現場におけるワークライフバランスの動向
Ⅰ:インデックス調査の読み解き活用
Ⅱ:WLB推進事業の展望

講 師:小村由香氏 日本看護協会労働政策部看護労働課 課長
報 告:WLB推進先行施設からの報告

多様な勤務形態導入支援事業

開催日時:平成27年10月3日(土)10:00~12:00 会 場:平鹿総合病院
平成27年10月 未定(土)10:00~12:00 会 場:能代市内を予定
テ ー マ:看護職の働き続けられる環境づくり
基調報告:看護職のWLB推進活動の動向
WLB推進先行施設からの報告(予定)

看護協会へのなんでもメッセージ

公益社団法人 秋田県看護協会

看護協会へのご意見・ご要望、看護あきたで取り上げてほしい話題・お知らせ等々、なんでも結構です。ご自由に記入して、FAXで送信してください。

FAX.018-831-8023

お名前

病院・医院名

TEL

FAX

部署・部門名

9/25
締切

第5回 秋田ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム 参加者募集

目 的：患者・家族に必要なエンド・オブ・ライフ・ケアを
包括的に学習し、ケアの質向上を図る
日 時：平成27年11月7・8日(土・日)
9:00~17:30(予定)

場 所：秋田大学大学院医学系研究棟講義室
応募方法：参加ご希望の旨、itotomo@hs.akita-u.ac.jp
または018-884-6519(秋田大学医学系研究科
保健学専攻 伊藤)へご連絡願います
後 援：公益社団法人秋田県看護協会、秋田県緩和ケア研究会

今回掲載された文章や写真、個人名・団体名については個人情報保護法の下、他の目的には一切使用いたしません。

編集後記

今年は早い時期から暑い日が多く、皆様体調の方はいかがでしょうか。第1号となる「看護あきた」Vol.120号を発刊することができました。

医療現場のニーズをいち早くキャッチし、旬な情報を皆様にお届けできるよう委員一同頑張っていきたいと思っています。

(記:嘉藤久仁子)

看護あきた Vol.120

平成27年度 1号

Nursing Akita



発行日/平成27年7月14日

発行責任者/公益社団法人 秋田県看護協会 会長

発行所/公益社団法人 秋田県看護協会 秋田市千秋久保田町6-6 Tel 018-834-0172

印刷所/秋田中央印刷(株) 秋田市新屋豊町6-43 Tel 018-823-7577